



「PEG (PEG)」というものをご存知でしょうか。経皮内視鏡的胃瘻造設術 (Percutaneous Endoscopic Gastrostomy) の略で、内視鏡を使つて腹部から胃に栄養剤を注入する管を挿入する手技をいいます。口から食事ができなくなった時に行うもので、比較的容易にできるため、近年広く普及してきております。

しかし、回復の見込みがある人や、自ら希望する人にとっては有効な手段ではありますが、老衰や意識障害のある人に造設した場合には、数年にわたつて栄養剤だけを注入され、生きていくこととなります。それが果たして本人や家族の幸福につながるのでしょうか。

今、「リビングウイル」というものが話題になっています。直訳すると「Living (生きること) + Will (意思、遺書)」という意味で、不治の病に侵された時などに、延命治療を希望しない旨を元気づちに文書などで明確にしておくことをいいます。これには、悪性疾患の終末期ばかりでなく、老衰や意識障害などで経口摂取ができなくなった場合にも有効です。

重症の認知症や意識障害で患者さん自ら意思表示ができない場合には、胃瘻造設の是非をご家族に相談することになりますが、その場合には世間体もあつて大半のご家族が希望せざるを得ないのが現状です。人はいつ病気や事故で意思表示ができなくなるかわかりません。元気づちからご家族の間で、万一そうなったときのことについて良く話し合つておかれるべきでしょう。

目次

特集

いま、自分と周囲の人のためにもっと知って欲しい。うつ病について 1

新風—千葉県の最新医療情報紹介—
食道がんの胸腔鏡・腹腔鏡下手術 6

アスリートに聞く! ~スポーツとカラダづくり~
プロテニスプレーヤー 松井俊英さん 8

スポーツコーナー
中高年が登山を楽しむために 10

ひとこまストーリー
エピソード4 かかりつけ医の支え 11

健康ひろば千葉
大人も罹るこどもの感染症
「麻疹と百日咳」 12

こども相談室

ヘルパンギーナ 14

こころの健康 ~思春期の心の悩みと病~
強迫性障害について

15

情報ファクトリー

とっさの時の応急処置 —外傷編— 16

千葉県インフォメーション

早期発見、早期治療が
肝硬変・肝がんを防ぎます 18

旬食野菜クッキング
にんじん

19

医師会インフォメーション

間違い探しクイズ 他 20